

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

PAT-NO: JP406127290A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06127290 A  
TITLE: INSTRUMENT PANEL FITTING STRUCTURE  
FOR VEHICLE  
PUBN-DATE: May 10, 1994

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
OYAMA, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME NISSAN MOTOR CO LTD COUNTRY N/A

APPL-NO: JP04284077  
APPL-DATE: October 22, 1992  
INT-CL (IPC): B60K037/00, B62D025/14  
US-CL-CURRENT: 180/90

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate a shift between an instrument panel and a door trim and allow easy connecting work between a duct and a grille.

CONSTITUTION: A steering member 14 arranged across the width of a vehicle has the reference side fitting portion 25 at the end and an instrument panel mainframe has the instrument panel side fitting portion 28 at the opening to be fitted to the reference side fitting portion 25. In addition, a vent duct 22

has the vent side fitting portion 30 to be fitted to the reference side fitting portion 25.

COPYRIGHT: (C)1994, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-127290

(43)公開日 平成6年(1994)5月10日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
B 6 0 K 37/00  
B 6 2 D 25/14

識別記号 C  
厅内整理番号 7812-3D  
7816-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号

特願平4-284077

(22)出願日

平成4年(1992)10月22日

(71)出願人 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72)発明者 大山 浩

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地日産自動車株式会社内

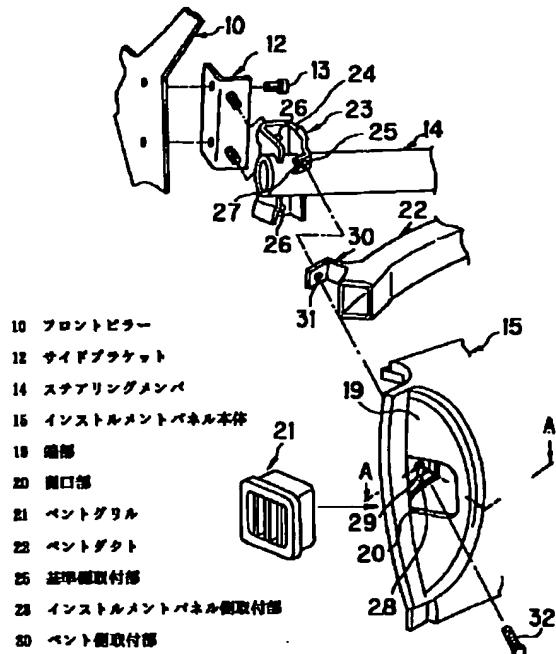
(74)代理人 弁理士 西脇 民雄

(54)【発明の名称】 車両用インストルメントパネル取付部構造

(57)【要約】

【目的】 インストルメントパネルとドアトリムとの位置ずれをなくすと共に、ダクトとグリルとの連絡作業が容易なインストルメントパネル取付部構造を提供することにある。

【構成】 車幅方向に沿って配設されたステアリングメンバ14端部に基準側取付部25を形成すると共に、インストルメントパネル本体開口部20に、基準側取付部25に取り付けられるインストルメントパネル側取付部28を形成し、更に、ペントダクト22にも基準側取付部23に取り付けられるペント側取付部30を形成した。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 フロントピラーの車室内側にサイドブラケットが固定され、該サイドブラケットを介してステアリングメンバが車幅方向に沿って配設され、該ステアリングメンバを覆うようにしてインストルメントパネル本体が配設され、該インストルメントパネル本体のサイドブラケット側の端部に設けられた開口部にペントグリルが取り付けられ、更に該ペントグリルに空気を導くペントダクトが前記インストルメントパネル本体内に設けられた車両用インストルメントパネル取付部構造において、

前記サイドブラケット又はステアリングメンバ端部に基準側取付部を形成すると共に、前記インストルメントパネル本体開口部に、前記基準側取付部に取り付けられるインストルメントパネル側取付部を形成し、更に、前記ペントダクトにも前記基準側取付部に取り付けられるペント側取付部を形成したことを特徴とする車両用インストルメントパネル取付部構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、車両のインストルメントパネル等を車体に装着する構造に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来からこの種のものとしては、例えば図3及び図4に示すようなものがある。

【0003】この図3は、自動車の車室内前方位置に配設されるインストルメントパネル1を示し、このインストルメントパネル1は、その内側にデフロスタ用ダクト2が配設されている。このデフロスタ用ダクト2は、前記インストルメントパネル1表面のデフロスタ開口3に配設されたサイドデフグリル4に接続されている。

【0004】このデフロスタ開口3の内側には、鉄板ブラケット5が配設されている。そして、この鉄板ブラケット5を介して、図示省略の車体のエアボックスに前記インストルメントパネル1がボルト6止めされている。

【0005】また、このインストルメントパネル1と隣接してドアトリム9が配設されている。このドアトリム9は、ドアがフロントピラー10に取り付けられていることから、このピラー10が基準となっている。

【0006】なお、インストルメントパネルとしては、(株)山海堂昭和55年4月20日発行「自動車工学全書 13乗用車の車体」172頁等に記載されたようなものがある。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、図3及び図4に示す従来例では、インストルメントパネル1は、エアボックスを基準に固定されているのに対し、このインストルメントパネル1に隣接するドアトリム9はフロントピラー10を基準に取り付けられているため、

インストルメントパネル1とドアトリム9との間に取付位置のずれを生じ、外観品質を低下させる虞があった。

【0008】また、サイドデフグリル4をデフロスタ用ダクト2に連結させる際、デフロスタ用ダクト2の連結側開口の位置決めがされていないため、両者の連結を簡単に行うことができない。

【0009】そこで、この発明は、インストルメントパネルとドアトリムとの位置ずれをなくすと共に、ダクトとグリルとの連結作業が容易な車両用インストルメントパネル取付部構造を提供することを課題としている。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】この発明は、かかる課題に着目してなされたもので、フロントピラーの車室内側にサイドブラケットが固定され、該サイドブラケットを介してステアリングメンバが車幅方向に沿って配設され、該ステアリングメンバを覆うようにしてインストルメントパネル本体が配設され、該インストルメントパネル本体のサイドブラケット側の端部に設けられた開口部にペントグリルが取り付けられ、更に該ペントグリルに

空気を導くペントダクトが前記インストルメントパネル本体内に設けられた車両用インストルメントパネル取付部構造において、前記サイドブラケット又はステアリングメンバ端部に基準側取付部を形成すると共に、前記インストルメントパネル本体開口部に、前記基準側取付部に取り付けられるインストルメントパネル側取付部を形成し、更に、前記ペントダクトにも前記基準側取付部に取り付けるペント側取付部を形成した車両用インストルメントパネル取付部構造としたことを特徴としている。

## 【0011】

【作用】かかる手段によれば、サイドブラケット又はステアリングメンバ端部に形成された基準側取付部に、インストルメントパネル本体開口部に形成されたインストルメントパネル側取付部を取り付けることにより、インストルメントパネルの取付基準は、ドアトリムと同じフロントピラーとなり、インストルメントパネルとドアトリムとの間の位置ずれが発生せず、外観品質が維持されることとなる。

【0012】また、前記基準側取付部にペントダクトに形成されたペント側取付部を取り付けることにより、ペントダクトはインストルメントパネルの開口部に対して位置ずれが発生しない。このためペントグリルを容易にペントダクトに連結させて配設することが出来る。

## 【0013】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0014】図1及び図2は、この発明の一実施例を示すものである。

【0015】まず構成を説明すると、左右一対のフロントピラー10の車室内側には、サイドブラケット12が

3

ボルト13によって固定され、このサイドブラケット12を介して図示省略のステアリングシャフトを支持するステアリングメンバ14が車幅方向に沿って配設されている。詳しくは、ステアリングメンバ14端部に取付部材23が固定されており、この取付部材23は、前記ステアリングメンバ14端部に固着され、コの字型の取付部材本体24から基準側取付部25が延設されて構成されている。この取付部材本体24には、ブラケット側挿入孔26、26が形成され、前記サイドブラケット12から突設されるネジ部が挿入されて固着されている。また、基準側取付部25には雌ネジ部27が一体形成されている。

【0016】そして、このステアリングメンバ14を覆うようにしてインストルメントパネル本体15が配設されている。このインストルメントパネル本体15は、主に芯材16、クッション材17、表皮18から構成されている。このインストルメントパネル本体15のフロントピラー10側の端部には、ペントグリル21が配設される開口部20が形成されている。この開口部20内に前記芯材16の一部が延長され、前記取付部材23に取り付けられるインストルメントパネル側取付部28が形成され、このインストルメントパネル側取付部28には挿入孔29が形成されている。

【0017】更に、このペントグリル21に空気を導くペントダクト22が前記インストルメントパネル本体15内に設けられている。そして、このペントダクト22にも前記取付部材23に取り付けられるペント側取付部30が形成され、このペント側取付部30には、ボルト挿入孔31が形成されている。

【0018】そして、ボルト32が前記挿入孔29、ボルト挿入孔31に挿入され、雌ネジ部27に螺合させることにより、前記取付部材23にペントダクト22及びインストルメントパネル本体15が開口部20において固着される。

【0019】かかる構成のインストルメントパネル取付部構造では、ステアリングメンバ14端部に形成された取付部材23に、インストルメントパネル本体15の開口部20に形成されたインストルメントパネル側取付部28を取り付けることにより、インストルメントパネル本体15の取付基準は、フロントピラー10側となる。これに対し、図示省略のドアトリムは、フロントピラー10に取り付けられたドアに配設されるものであるため、フロントピラー10が基準となっている。従って、インストルメントパネル本体15、ドアトリム共にフロントピラー10が基準となり、両者の間に位置ズレが発生せず、外観品質を良好とすることができます。

4

【0020】また、前記取付部材23にペントダクト22に形成されたペント側取付部30を取り付けることによりペントダクト22はインストルメントパネル本体15の開口部20に対して位置ずれを発生しない。このためペントグリル21を容易にこのペントダクト22に連結させて配設することが出来、作業性が良好である。

【0021】更に、この実施例のインストルメントパネル取付部構造では、インストルメントパネル側取付部28を芯材16にて形成したので、従来のような鉄板ブラケット等の補強材を別途用意する必要がなく、低コスト化を図ることが出来る。

【0022】なお、上記実施例では、取付部材23をステアリングメンバ14端部に設けているが、これに限らず、前記サイドブラケット12にこの取付部材23を形成しても良いことは勿論である。

#### 【0023】

【発明の効果】以上説明してきたように、この発明によれば、インストルメントパネル本体の取付基準は、ドアトリムと同じフロントピラーとなり、インストルメントパネル本体とドアトリムとの間の位置ずれは発生しないため、外観品質を良好とすることが出来る。

【0024】また、ペントダクトはインストルメントパネル本体の開口部を基準に取り付けられるため、この開口部に取り付けられるペントグリルとペントダクトとの位置合わせが容易に行える、という実用上有益な効果を発揮する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のインストルメントパネル取付部構造の一実施例を示す分解斜視図である。

【図2】同一実施例の要部を示す図1のA-A線に沿う断面図である。

【図3】従来例を示し、車室内側から見たインストルメントパネル本体の配設位置を示す全体図である。

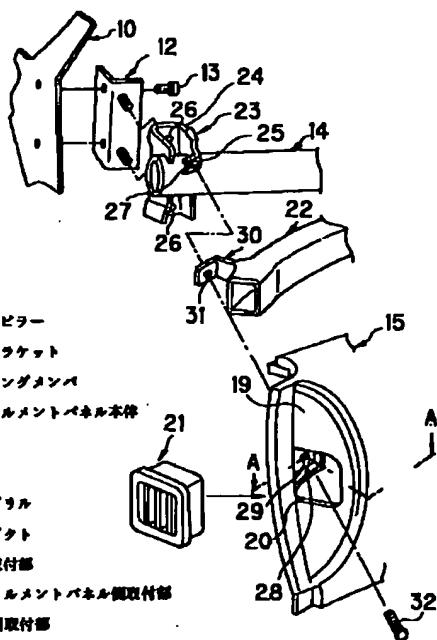
【図4】従来例の要部を示す斜視図である。

#### 【符号の説明】

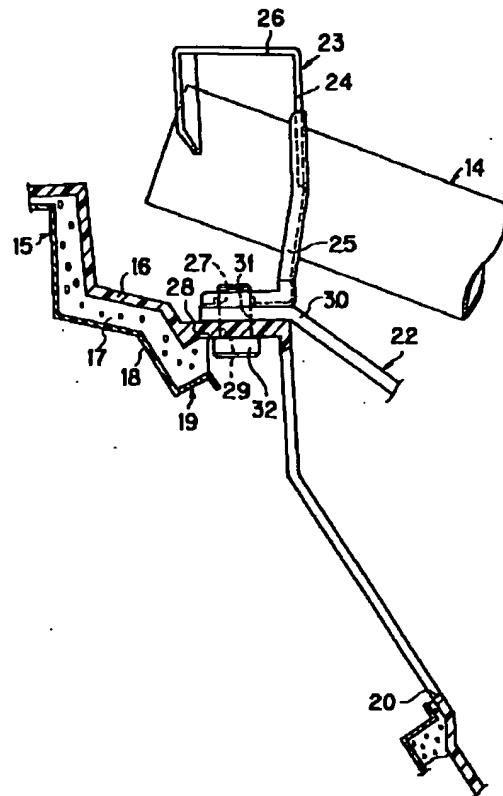
- 10 フロントピラー
- 12 サイドブラケット
- 14 ステアリングメンバ
- 15 インストルメントパネル本体

- 40 19 端部
- 20 開口部
- 21 ペントグリル
- 22 ペントダクト
- 25 基準側取付部
- 28 インストルメントパネル側取付部
- 30 ペント側取付部

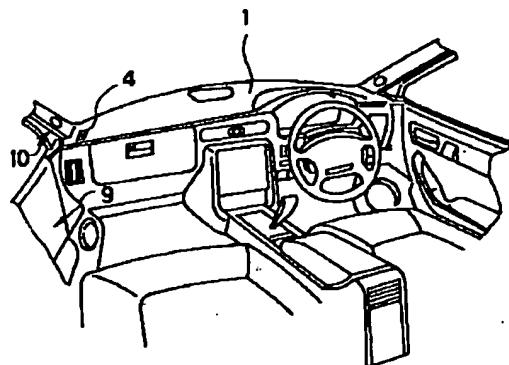
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

